

# よつば

10

2024  
OCTOBER  
No. 104

収穫の秋、

たわわに実ったブドウが

香り豊かなワインへと変わる

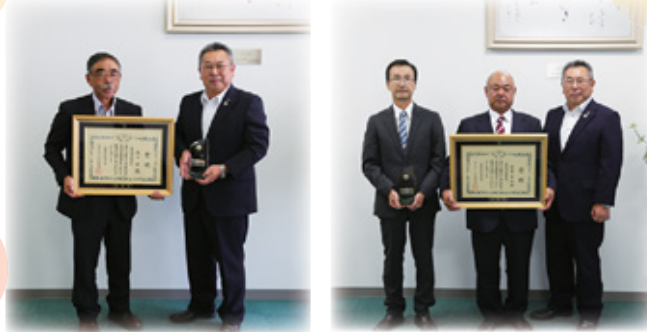
特集：第65回福島県農業賞受賞者紹介

03 特集 第65回福島県農業賞受賞者紹介

原組合長に受賞報告!!

06 トピックス

10 農業大学  
土壌と適正施肥について



大盛況  
や  
8月31日の日イベント



11 自己改革

第4次中期経営計画策定プロジェクト

12 コメナルド画伯が行く!

会津美里町編

13 暮らしの味方 坂下厚生総合病院

看護師特定行為をご存じですか?  
院外処方のご案内

14 みんなの広場

16 チャレンジクロスワード

組合員募集

9月14日  
フルーツ&フラワーフェスティバル



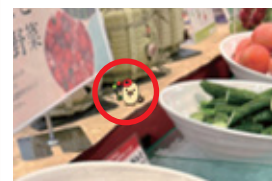
理事会だより ※全議案可決承認されました

第7回理事会 9月13日開催

議案第1号 令和6年産米概算金並びに買取米価格の設定について

第8回理事会 9月30日開催

- 議案第1号 令和6年度上期決算及び下期対策について
- 議案第2号 お客さま本位の業務運営に関する取組方針の策定について
- 議案第3号 ヘルプライン運営要領の一部改正について
- 議案第4号 当組合における取引のリスク評価書の定例改正について
- 議案第5号 貸付業務規程第9条貸付契約について
- 議案第6号 令和6年産備蓄米取扱の変更について



広報誌9月号のわしはここに  
いましたぞ!  
6ページ中段左  
今月もこのコメナルド画伯  
を探してね!



JAグループ

耕そう、大地と地域のみらい。



会津よつば農業協同組合  
〒965-0025 福島県会津若松市扇町三丁目5番地の6  
編集/企画広報課 Tel.0242-37-2222(代)



公式 YouTube



# 特 集

## 第65回福島県農業賞受賞者紹介

9月2日、県内の農業分野で最も権威のある第65回福島県農業賞の表彰式が行われました。当JA管内からは2名の生産者が農業経営改善部門で受賞しました。



【農業経営改善部門】

六次化商品に情熱を注ぐ

佐藤 <sup>せんた</sup> 泉太 さん (63) (只見町)

●水稲、どぶろく製造販売



農業、どぶろく製造販売を営む佐藤泉太さん。水稲栽培とどぶろく製造販売の複合的な経営により生産性の高い農業経営を行っていることが評価されました。

農業経営年数は約30年。コシヒカリ、ひとめぼれを中心に水稲約8.5haを栽培しています。高齢化による離農や担い手不足が課題となる中、自らが地域の担い手となり耕作放棄地を少しでも減らしたいと取り組んでいます。「頼まれたから引き受けていただけ」と謙虚に

話す佐藤さんですが、地域農業を支えていく上で重要な役割を担いながら、安心・安全で美味しいコメづくりを行っています。



佐藤さんは只見町産米の認知度を上げて農業を盛り上げようと、自家産のひとめぼれを使用したどぶろく製造にも取り組んでいます。「泉太のどぶろく」の原料は米と米麴だけの昔ながらの製法。ぶなの泉(辛口)、ぶなの雫(甘口)、ぶなの煌(旨辛口)の3種類があります。ぶなの煌は令和2年に新発売したもので、精米歩合70%の贅沢なつくりにすることで雑味が無く飲みやすい味わいに仕上げられています。さらには火入れをして発酵を止めることでまろやかな味わいに仕上げた瓶タイプと、火入れをせずに麴が生きたまま冷凍することで風味豊かになる冷凍パックタイプもありこだわりの詰まっています。どぶろく製造は仕込みから出来るまで



【泉太のどぶろく 民宿やまかのうや】  
〒963-0415  
住所：福島県南会津郡只見町大字叶津字入叶津 28  
TEL：0241-82-3400 FAX：0241-71-9033  
URL：https://www.bunanoizumi.jp/

18日程度かかります。温度管理が重要で特に夏場は一定温度を保つことが大変です。こうした努力で只見町の魅力を発信する「泉太のどぶろく」は完成します。地元の土産店などでも販売されており、町のPRを積極的に行い地域貢献活動に力を入れています。

佐藤さんにはもうひとつの顔も。それは民宿「やまかのうや」の経営者です。観光はもちろん、仕事で只見町を訪れた人の憩いの場となっており、どぶろくも味わうことができます。

佐藤さんは「今後、どぶろくをセツトにした料理も提供してみたい」と話し、どぶろくを起点に只見町を盛り上げる活動を続けます。



【農業経営改善部門】

食育活動は未来への投資

山口<sup>きよし</sup> 潔 さん (66) (喜多方市)

●水稲、トマト

水稲、トマト栽培をする山口潔さん。化学肥料や化学農薬に頼らない環境にやさしい有機農業への取り組みや、小学校農業科の支援員として子どもたちに農業や食の大切さを伝え、地域農業の振興に貢献していることが評価されました。

農業経営年数は約35年。JAの非常勤理事を務め、農業の未来に力を注いでいます。水稲経営面積は約10畝でコシヒカリ、天のつづ、里山のつづ、ふく

ひびきを栽培しています。コシヒカリは慣行栽培と有機栽培で行い、有機栽培は約2.3畝まで拡大しています。トマトの栽培面積は約10<sup>坪</sup>。品種は「りんか」と裂果しにくい「麗月」を栽培し、2本仕立てにすることで、リスクの分散、コスト低減、作業効率化を図っています。

有機農業に積極的に取り組む山口さんは、地元の農家をつくる「ゆうきの会」の会長を務め、平成19年に有機JAS



認証を受けました。今年5月に喜多方市が宣言したオーガニックビレッジの立ち上げにも貢献しており、地域をあげて有機農業の普及促進に取り組んでいます。今年の12月には喜多方市内全ての学校の給食で有機栽培の米が提供される予定です。

有機農業は雑草や虫の対策が大変で、昨年はカメムシの被害に遭い、米の等級が下がってしまったこともありまし。そこで玄米を袋詰めする際に被害のあった米などの混入を防止することのできる色彩選別機を独自に導入し、さらに高品質で安心・安全な米を提供できるようにしています。

有機農業にこだわる理由のひとつに食育活動があります。喜多方市では「総合的な学習の時間」として、農作業を



実体験することで豊かな心、社交性、主体性の育成を図る全国的にも珍しい農業科の取り組みをしています。地元の小学校農業科支援員として田んぼの生き物調査や米作りを子どもたちに教え、農業の魅力を伝えていきます。新鮮なものを食べてもらいたいという強い思いから、学校給食に野菜を提供する「まごころ野菜の会」の会長も務めています。

山口さんは「食育活動は未来への投資。子どもたちに伝えることで大人になったとき、地元の農産物を購入してくれるきっかけになる。自立的・持続的な農業をしていくには必ず必要なことなので継続して取り組んでいきたい」とこれからの農業を牽引します。

### 待ってました新米 会津の米初出荷

J Aは9月13日、会津坂下町の75号倉庫で令和6年産米の初検査と初出荷式を行いました。

6日に収穫された「ひとめぼれ」126袋(1袋30キロ)を農産物検査員が検査し、全量一等米に格付けしました。

県会津農林事務所やJ A全農福島、J A役員など関係者ら約80名が出席しました。



▲ 等級検査を行う検査員



▶ サンプルを抽出中

J Aの原組合長は「今年の米は張りや光沢もありとても良い出来になっている。できる限り早く食卓に届け、消費者の皆様が会津の新米で笑顔になっていただきたい」と話しました。

今年度は240万袋以上の集荷を目指します。

### 新任検査員に辞令交付 126名を農産物検査員に任命

J Aは8月29日、令和6年度新規に登録された7名を含む126名を農産物検査員に任命し、辞令を交付しました。うち27名は指導的検査員。

J Aの星専務は新規登録者に辞令を手渡し「会津米の名声を守り強固な信頼をかち取るため、公平・公正な立場で厳正な検査に当たってほしい」と訓示しました。



▲ 検査員の重責に緊張する新規登録の職員

### 新米祭大盛況



▲ 新米は味も香りも格別!

J Aは9月14日から16日の3日間、まんまらじやで令和6年産米を販売する新米祭を行いました。

全国的な米不足でまんまらじやには在庫の問い合わせが多数寄せられており、要望に応えるために早期の販売を実現させました。

ひとめぼれ5キロを数量限定で販売し、新米を買い求める来店者で大変賑わいました。

### 会津農林高校生が 「まんまらじや」で楽しく職場体験

直売所まんまらじやは9月10日から3日間、会津農林高校2年生の職場体験を受け入れました。

値札シールの貼付や品出し、陳列などのバックヤード作業を中心に業務を体験。職場体験は高校2年生の学習行事のひとつで、将来の進路や職業選択の参考に資するのが目的。



▲ ひとつひとつの作業が楽しい、と話す菅野さん(左)と渡部さん(右)

### 健康意識を高める

J Aが主催する「くみあい健康教室」が始まり、8月20日に開講式と第1回の講話を行いました。

高田厚生病院の上野修一院長から生活習慣病予防について話を伺い、参加者はときに笑みをこぼしながら聞き入っていました。

12月まで6回の講座を予定しています。



▲ 上野院長の講話を聞き共感しながらメモを取る参加者

女性部

料理で地域交流

J Aの女性部協議会は9月7日、若松本店で家の光クッキングフェスタを開きました。

地元の農産物を使った料理や郷土の伝承料理を参加者に提供することで、J Aを身近に感じてもらう農産物の消費拡大を目指すことが目的。直売所利用者など110名が参加しました。

お米料理研究家のしらいのりこさんが講師となり、「美味しいごはんで日々の生活を豊かに～ごはんの美味しい炊き方、お米に関する豆知識～」と題して講演しました。



しらいさんが考案したお弁当メニュー

- 会津牛の黒酢ちらし寿司
- 和風麻婆キュウリ
- アスパラの中華風白和え
- 南郷トマトのグミ

メディアでも活躍するしらいさんの話は大変好評でした

地元野菜を使った栄養満点弁当



広報通信員

テーブルマナーを学ぶ

J Aは9月13日、郡山ビューホテルアネックスで、いいで地区・みどり地区合同の女性大学を開きました。

参加者が活動を通して交流を深めることを目的に、今回は和食のテーブルマナーを学びました。合同での開催は初めての取り組みで、女性部員や一般参加者、J A職員ら29名が参加しました。

参加者からは「和食のテーブルマナー教室を通して、マナーを深めることができました」「参加者同士の交流ができてよかった」と大変好評でした。〈喜多方営農経済センター 笠井富美代・坂下営農経済センター 藤田まき子〉



▲ お箸の使い方や食べる順番などを学びました



▲ 地区間の交流はお互いに良い刺激を受けました

農業技術を学ぶ

J Aの学校給食生産者の会は9月6日、郡山市の県農業総合センターやJ A全農福島直売所「愛情館」、J A福島さくら直売所「あぐりあ」で視察研修を行いました。  
生産者13名が参加し、県農業総合センターの担当者から野菜の栽培方法やスマート農業の取り組みについて説明を受けました。  
生産者からはインゲンが真っ直ぐ伸びない原因などについて質問がありました。



▲ 最新の農業技術に驚きの連続

女性部みどり地区は、9月3日から4日にかけて県外研修を行いました。部員28名が参加し家の光協会の視察研修や宝塚観劇を楽しみました。  
女性部役員は、手作りした「オニヤンマのお守り」(家の光6月号掲載を身につけ視察に参加しました。

待ちわびた県外研修



女性部

▲ 和気あいあい交流も深まりました

自己改革

### 四季を通して旬の果物を輸出 ドバイに向け初めての取り組み

直売所まんまくじやは9月8日、アラブ首長国連邦ドバイに向けブドウ3ケースを発送しました。ほかの品種のブドウや梨、リンゴ、イチゴ、桃を来年の8月まで、順次輸出する予定。果物の旬に適宜輸出し、会津産果物のおいしさを味わってもらおう初めての取り組みです。

今回の取り引きは令和5年に会津産桃をサンプル発送したことがきっかけ。この日送り出したブドウは、発送から2日後に「いなわしろ天のつぶ」を利用して現地高級日本食レストランで提供されました。

▶今回輸出した北会津産のブドウ



### 家畜の冥福を祈る

J Aは8月29日、畜産センターで家畜に感謝を伝え、御霊が安らかに鎮まることを願う、畜魂祭を行いました。原組合長は「畜産経営は高齢化・担い手不足、生産費の高騰等により大変厳しい状況にあるが、技術研鑽を図り、市場価値を上げていきたい。J Aとしても畜産事業発展に取り組みでい」と話しました。



▲関係者ら約50名が家畜の冥福を祈りました

### 栽培管理のポイントを学ぶ

苗の状況を確認する参加者ら



J Aのあいついちご生産部会は8月23日、管内6戸のイチゴ生産者の畑で現地指導会を行いました。会津農林事務所農業振興普及部の担当者が今後の気象予報や育苗期、定植から定植後の管理、病虫害防除のポイントを説明しました。J Aの担当者は「今後も定期的な巡回により防除の徹底を図り、安定した収量確保に向け指導していきたい」と話しました。

### 夏の檜枝岐歌舞伎でのぼり旗奉納

J Aは8月18日、檜枝岐村の鎮守神祭礼奉納歌舞伎にて、のぼり旗を奉納しました。これは地域貢献活動の一環で伝統芸能の継承支援を目的にしたもので合併前から継続しています。舞台で贈呈式が行われ、原組合長が千葉之家花駒座の星昭仁座長にのぼり旗を手渡しました。



▲のぼり旗を手渡す原組合長。J A福島五連も奉納しました

### 介護実践例発表で最優秀賞



8月22日、福島市で介護サービス・ケース発表会が行われました。県内J Aの福祉部門管理者や介護事業の従業員ら約90名が参加し、19事業所の担当者が現場の実践例を発表しました。当J Aからはデイサービスさくらの坪田健一所長代理が最優秀賞に選ばれ、県代表9名の一人として、12月に行われる東北地区介護保険事業ケース発表大会に参加します。



## あいづ食の陣と タイアップ

J Aのあいづトマト生産部会は、「あいづ食の陣」と初のタイアップ企画として、大玉トマトをメインにしたオリジナルレシピコンテストを行いました。同生産部会があいづトマトをさらにPRできないかと協力を依頼し、タイアップが実現。

9月8日、J Aの若松本店で二次審査が行われ、室井照平会津若松市長や山際博美あいづ食の陣実行委員長、同J A女性部あいづ地区の吉田由紀部長、J Aの小林常務が審査員を務めました。

最優秀賞に室井つな子さん(会津美里町)の「あいづの大きな恵み!!ピリットマトライス」が選ばれました。



◀大玉トマトを丸ごと使い、会津地鶏や会津産コシヒカリと組み合わせたピリットマトライス。

表彰式で生産部会の眞野誠部会長から副賞のあいづトマトを受け取る室井さん(右)

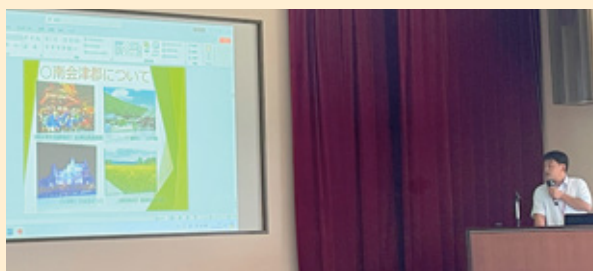


## スマサポの提案力を競う

▲電話での提案を披露する原田職員(左)と関口職員(右)

9月11日、J A福島ビルで共済窓口担当者のロールプレイング県大会が開催されました。当J Aからは2名が参加し、会津若松支店の関口瞳職員が優秀賞、湯川支店の原田千尋職員が奨励賞を受賞しました。緊張感あふれる中、日頃の業務経験が十二分に発揮された素晴らしい発表でした。

〈共済部 車田菜緒〉



▲就農者確保やアスpara塾などの取組みについて紹介しました

9月3日、福島市でJ A営農指導実践北海道・東北ブロック大会県予選が行われました。田島営農経済センターの菊地亮職員が「会津田島アスparaの産地振興の取組みについて」と題して発表し、最優秀賞に選ばれました。11月に開かれる北海道・東北ブロック大会に県代表として出場します。

## 営農指導事例発表で県代表に

## 令和7年度用 肥料・農薬の 予約注文受付中!

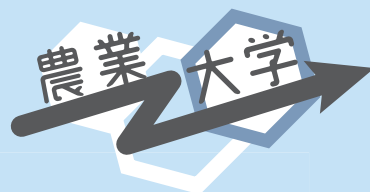


令和7年度用の肥料・農薬予約注文の提出はお済みでしょうか。今年も暑い夏となり、農作物は高温による品質低下が多く発生しております。高温対策には追肥が有効とされており、追肥等の肥料も、ぜひ予約価格にて購入いただきますよう、注文書の提出をお待ちしております。

## J Aまつり開催のお知らせ【11月】

イベント名・開催場所	日時
西会津ふるさとまつり 【西会津町さゆり公園】	2日(土)9時~15時 3日(日)9時~15時
J A 感謝祭 【南会津ふるさと物産館広場】	2日(土)9時~14時
第9回J Aまつり 【南郷営農経済センター前】	2日(土)9時半~14時
J Aまつりinばんげ2024 【坂下本店裏駐車場】	2日(土)9時~14時
北塩原支店農業まつり 【北塩原支店前】	3日(日)10時~14時
第6回JA会津よつば下郷地区農業祭 【下郷ふれあいセンター】	3日(日)10時~15時
湯川支店J Aまつり2024 【湯川支店前広場】	3日(日)10時~15時
柳津支店J Aまつり 【道の駅会津柳津】	3日(日)11時~15時
ふれあいきたかた農業まつり 【押切川公園体育館】	9日(土)9時~15時 10日(日)9時~15時
新鶴支店J Aまつり 【新鶴支店前広場】	9日(土)10時~15時
西部地区J Aまつり 【金山町御神楽館】	10日(日)10時~15時

# 土壌と適正施肥について考えよう



今年の作付け品目の生育はどうだったでしょうか。着果不良で全然収穫ができなかった、奇形・変形・尻腐れが多かった、葉色が薄かった、元気・勢いがなかった、すぐ枯れてしまった…など様々な悩みがあったのではないのでしょうか。

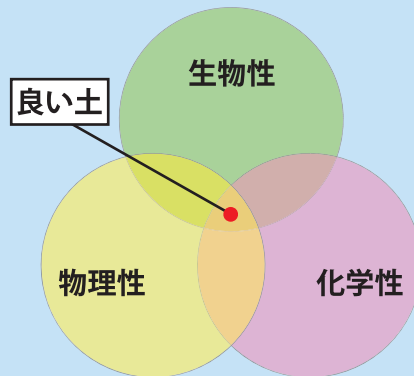
天気や病害虫以外にも、土壌や施肥（元肥・追肥）が関係しているかもしれません！振り返りながら考えてみましょう！

良い土とは…

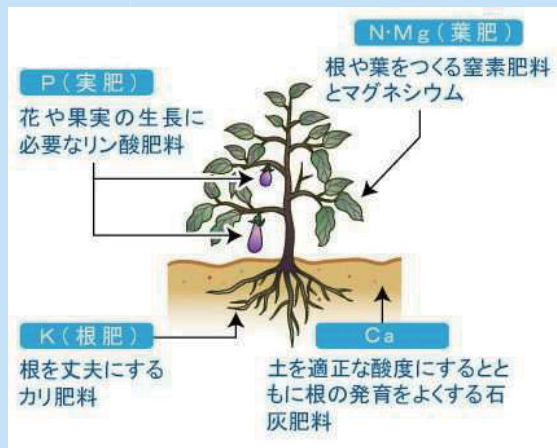
物理性、化学性、生物性の3つが揃っていることが重要です！



- ①通気性や排水性が良いこと
- ②保水性や保肥性に優れていること
- ③土壌のpH値
- ④土壌のEC値
- ⑤良い菌や微生物が豊富なこと など



※pH値が低いと酸性、高いとアルカリ性。EC(塩類濃度)値が高いと畑(土壌)に肥料分が残っていることを表す。



→ 土壌の「肥満度」とも言われ、畑にどれだけ肥料分が多く残っているかを表す。数字が大きいほど肥料が多く残っている。

- ・三大要素…窒素、リン酸、加里
- ・二次要素…苦土、カルシウム、硫黄
- ・微量元素…鉄、マンガン、ホウ素 など

### 【肥料欠乏・過剰の例】

- ・窒素欠乏(写真1)…葉色が全体的に薄い、茎が細い、伸びが悪い
- ・窒素過剰(カルシウム欠乏を誘発)(写真2)…葉色が濃い、花・果実の奇形、花の減少・異常増
- ・リン酸欠乏(写真3)…葉の小型化、窒素の吸収障害
- ・カリ欠乏(写真4)…葉の先端・周辺部が黄化して枯れこむ
- ・カルシウム欠乏(写真5)…トマト・ピーマンなどの尻腐れ、白菜・キャベツなどの芯腐れ などなど…



写真1：トマトの葉の窒素欠乏  
左が正常の葉。比べると窒素欠乏は葉色が特に薄いのがわかる。

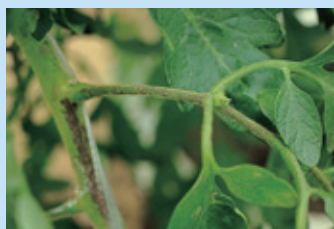


写真2：窒素過剰  
樹勢が旺盛過ぎる。窒素過剰になると茶褐色のえそ斑を生じる。



写真3：リン酸欠乏  
土壌よりリン酸供給を遮断すると、上位葉の生育が抑制され、小葉化する。

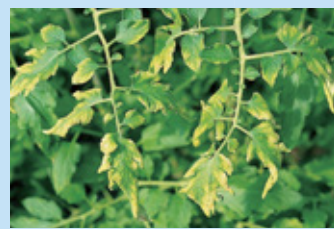


写真4：カリ欠乏  
葉の周辺部から黄化症状を示す。



写真5：尻腐れ  
最も重要な生理障害の一つ。果実の頂端部にえそができる障害で、ナス、ピーマンでも症状が発生するがトマトが最も発生しやすい。



写真5：芯腐れ  
白菜やキャベツなどの葉先が褐変すること。

写真と解説はタキイ種苗株式会社：野菜栽培での病害虫生理情報から

☆それぞれの養分が複雑に関係しています。どれか1つ「欠けても」「多すぎても」育ちが悪くなります。肥料の成分や役割、作物ごとの適正施肥量をきちんと把握し、良い土づくりを意識してみましょう！病害虫対策もきちんと実施し、長期間栽培・収穫できるよう、次年度の参考にしてみてください。

## 令和7年度からの次期中期計画作成にむけ

### 「第4次中期経営計画策定プロジェクト」



△ プロジェクト会議の様子

令和6年度は、現在実践中の第3次中期経営計画（令和4年度～6年度）と第2次地域農業振興計画の最終年度です。第3次中期経営計画で設定した、4つの重要戦略（地域農業振興、組織基盤強化、経営基盤強化、人づくり）に沿った具体策を実践しながら、同時にその成果を明確にし、出来たことと出来なかったこと、及びその理由と原因を洗い出し、次期計画につなげていく検討の年でもあります。次期中期計画（3か年）である第4次中期経営計画と第3次地域農業振興計画は、来年5月の第10回通常総代会に付議される予定です。

#### 計画案（成案）策定のステップを設定

#### ～職員によるプロジェクト方式の採用

計画の「たたき台」作成を、職員で構成するプロジェクトが行うこととし、部長（部長会）による検証を経て常勤役員の考えを反映させ、理事会に付議する原案を決定します。プロジェクトは各部の課長相当職5名に、各地区から次世代リーダー平均年齢39才8名を加え、計13名で構成。JA内外の環境と課題を分析し、ビジョンを設定してJAの目指す方向性を明確にし、事業戦略を「たたき台」としてまとめます。9月24日には常勤役員向け中間報告を行いました。

	開催日時	検討内容
第1回	7月16日	JA会津よつばの現状確認、分析
第2回	7月30日	マクロ・ミクロ環境分析
第3回	8月8日	10年後のめざす姿の検討（ChatGPTの活用）
第4回	8月26日	重要な変化に対応する対応策の検討
第5回	9月11日	中間報告書の検討

△ プロジェクト会議の開催経過

中間報告においては、まずビジョンや基本理念の関係を明確にし、重要性を示しました。ビジョンはJAが目指すべき方向性であり、いわば道に迷いそうな時の北極星を示します。そして、基本理念は北極星を示す羅針盤の役割を果たします。プロジェクトは、それらを踏まえ、4項目のビジョン（下記③）と4つの重要戦略（下記④）における重点施策を提案しました。

#### ビジョンと基本理念の関係

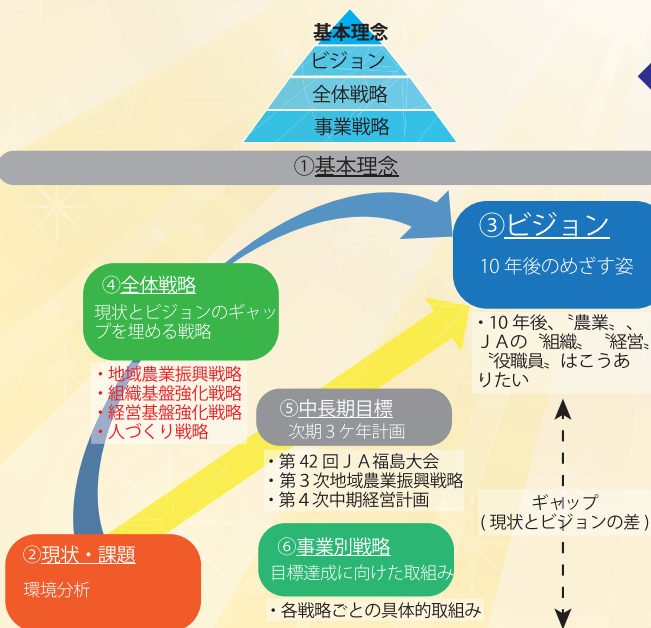
#### ～ビジョン実現に向けた戦略設定



#### ◆提案したビジョン（案）◆

- 『地域農業振興戦略』農畜産物のブランド力向上を目指すため組合員とJAが共に、地域農業の発展を実現している姿
- 『組織基盤強化戦略』JAと組合員が地域の未来を共に描き、地域の絆を深め一番身近な組織となっている姿
- 『経営基盤強化戦略』経営の効率化と競争力の強化を目指し持続可能な経営を実現している姿
- 『人づくり戦略』活気あふれる職場でやりがいを感じながら、地域や業務に精通した魅力ある職員へ成長している姿

▽ 9月24日の中間報告会



職員が減少する中、いかに経営基盤を強化し、地域農業の振興を図るか、大きなポイントです。そのため、DXも推進しながら環境対応を図り、いかに事業と業務を効率化していくか、そして同時に組合員や地域との接点を強化していくか、かつてない課題への挑戦になりそうです。



よつばのステキを発見！ですぞ♪  
**会津美里町編**  
**メナルド画伯**  
**が行く!**

**こだわりワインが楽しめる！**  
**新鶴ワイナリーに来ましたぞ〜!**



**私が紹介します!**

坂下営農経済センター  
 藤田 まき子 係長



店内ではワインの試飲もできます♪  
 好みのワインを見つけてね!

会津美里町新鶴地域にある「新鶴ワイナリー」は、ブドウ栽培から醸造、販売を手掛けており\*ドメーナ形式を目指しています。

\*ドメーナとは、ブドウの栽培から醸造、熟成、ビン詰めまでのワインづくりの工程全てを行う生産者を指す。

白ワインの産地として有名な地域ですが、「赤ワインも飲めれば...」という言葉がきっかけとなり、平成28年に地域おこし協力隊とワイナリー設立に向け活動が始まりました。ブドウ農家の高齢化や担い手不足により耕作放棄地が増えていることを受け、耕作放棄地を活用し地域活性化を目指して取り組んでいます。

店内ではワインのほかに、山里まめてんさんの味噌などの加工品、地元の作家さんの陶芸品などを販売しています。2カ月に1回、偶数月の最終日曜日には、イベントやマルシェを行い大勢のお客さんと賑わいます。

最近「1日農業バイト」を活用し、収穫作業の手伝いを募集しています。旅行や観光の合間に参加する県外の方が増えているので、ワイナリーを知ってもらえる良いきっかけになっています。



新鶴地域には、ワイナリー周辺に地元農家の直売所も複数あるので、秋の味覚を存分に味わえます♪収穫の秋であり、食欲の秋です。新鶴地域で「秋」を満喫しませんか？

**「あいづみさとワインフェス」を開催!**  
**詳しくは会津美里ワインフェス2024**  
**実行委員会のHPをチェックですぞ〜!**

**店内から**  
**ブドウ畑が**  
**見えますぞ!**



一番人気!!  
**アイツルージュ**



**店舗の2階からは**  
**醸造所を見学できますぞー!**



**赤ワイン、白ワインの他に、ブドウジュースや町内産のりんご**  
**で作ったアップルワインなど豊富なラインナップ!**

**新鶴ワイナリー** Instagramも見てね♪

〒969-6403 福島県大沼郡会津美里町鶴野辺字下長尾 2398  
 TEL: 0242-23-9899 営業時間: 10時~16時  
 定休日: 毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)

## 看護師特定行為をご存じですか？

坂下厚生総合病院 看護部

### 特定行為とは？

特定行為とは専門的な知識と技術が必要とされる特定行為（診療の補助）を、研修を受けた特定看護師が医師の指示を受けて行うことです。38の特定行為のうち、履修した研修によって対応できる特定行為が異なります。

### なぜ特定行為が必要？

高齢社会を迎えた現在、医療の在り方の見直しや在宅医療推進が進められています。医師や看護師不足も懸念される中、多職種によるチーム医療の展開が必要となり、特に看護師の役割拡大が重要とされています。

難易度の高い診療の補助業務を、医師があらかじめ作成した手順書をもとに実践するため、入院や在宅でも医師の到着を待たず、患者の症状に合わせて適切な処置を行い、症状の悪化を防ぐことができます。

### どんなメリットがあるの？

#### 患者



医師の指示を待たずに特定行為をタイムリーに受けられる

- ・ 早期に苦痛軽減する
- ・ 在宅の方は受診の回数が減り経済的負担の軽減

#### 医師



手順書を通して明確な包括的指示で、特定行為看護師に業務を任せられることができる

- ・ 治療が遅れるジレンマの軽減
- ・ 業務負担の軽減

#### 看護師



- ・ 医師の到着を待つことなく特定の行為を実践できるため活躍の場が広がる
- ・ 患者や家族の立場に立った分かりやすい説明ができる

## 病院では研修を受けた特定行為看護師が活躍しています

- \* 気管カニューレの交換
- \* 胃ろうカテーテルもしくは胃ろうボタンの交換
- \* 脱水症状に対する輸液の補正が実施できます



- \* 急性血液浄化療法の管理
- \* インスリン投与量の調整
- \* 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時投与が実施出来ます



現在、  
質の高い医療の提供を目指し、  
特定行為の研修を受けている  
看護師もいます



## 院外処方のご案内

2024年12月からの、**院外処方**への切り替えに向けて取り組んでおります。ご理解をお願い致します。

【院外処方せん】を発行いたしますので診察した日を含めて4日以内に「処方せん受付」「保険薬局」の表記がある薬局へご持参ください

みんなの広場



○蒲生岳は「会津のマッターホルン」と呼ばれていますが、その名付け親が田部井淳子さんとは知りませんでした。標高828mと低山ではあるが、急峻な岩場、くさり場を登りきると360度の大パノラマが広がる。穂やかに蛇行するエメラルドグリーンのみ見川、そこに並行する只見線の線路や鉄橋がまるでジオラマのようです。健脚な方にはおすすすめです。  
(北塩原村 武藤さん)

○みんなの広場には毎月知っている人の作品が載り、会うとその話題で盛り上がりです。(会津若松市 田中さん)

○JAと会津17市町村合同トップセールス「会津のものづくりフェスタ」はインパクトが強いですね。会津をPRするため今後も続けてほしいです。  
(下郷町 渡部さん)

○今年のスポーツの日は、尾瀬ハイキングに行きます。晴れるといいな！  
(会津美里町 根本さん)

○ポケ防止に解いています。来月から郵便料金も値上がるので楽しみが少し減るかもしれません。  
(喜多方市 外島さん)

○今年はお休みした年でした。ご近所や友達から新鮮な野菜などをいただきありがたく感謝しています。来年は楽しみながら野菜作りに挑戦してみようと思います。  
(猪苗代町 小楡山さん)

○毎年、南郷トマトがモスバーガーに

入っているのは、とても嬉しいことだと思っっています！先日、千葉の西船橋駅の野菜売場で「南郷トマト」と表示されたトマトを見ました。うれしかったです。  
(南会津町 Dさん)

○猛暑が当たり前となってきましたが、米の胴割れも少ない豊作と米の値段アップの見込み、良かったです。国民の皆様には、安い主食を提供し続けている労苦、自給率向上、自然との闘いをしていく生産者への理解をもっと深めていただきたいと願うものです。  
(会津美里町 山浦さん)

○南郷トマト使用のモスバーガー、来年は食べてみたい。  
(喜多方市 遠藤さん)

○9月に入ると収穫の秋で大変ですが、暑かった分、夜はゆっくりとくつろぎたいです。  
(猪苗代町 熊谷さん)

芸文のひろば



たりねえべ娘が米を持ってきた  
ありがたいことばかりもう九月  
柳津町 菊地 義隆

黄金穂を刈り取り終えた老夫婦  
海老腰伸ばし安堵の笑顔  
会津坂下町 定

真夏日の続く九月に大根の種蒔く朝に虫の音すだく  
喜多方市 大竹 恭子

朝陽浴び杖つき歩くマイロード  
まだ行けないよお父のもとへ  
会津若松市 原 慎理子

強風に稲の倒れし田の多く  
刈り取り憂える大地ひろがる  
南会津町 大竹 幸一

除草終え見上げる空は茜色  
五臓六腑に染み渡る水  
南会津町 星 保子

黄金色稲穂輝く田園に  
収穫を待つコンバインの音  
会津坂下町 佐藤 シン子

床につき虫の合唱子守歌  
心やすらぎ眠り夢の中  
喜多方市 ひまわり

穂やかな夕焼雲を仰ぎ見つ  
杖を守りに干歩を目指す  
南会津町 平野 ツル子

思春期で将来の事思案する  
恙無けれと祈る毎日  
南会津町 岩下 つよ子

青々と茂れる草ぐさかき分けて  
彼岸の花は紅赤く咲く  
喜多方市 樋口 和男

仏様の涙にも見ゆ降りやまぬ  
硝子戸越しの彼岸の入り  
喜多方市 樋口 康子

イヤな名を付けらるる花彼岸花  
花消えし庭爽やか嬉し  
喜多方市 鶴川 俊子

新聞を開き目に入る朗報よ  
米の値上がる白露の朝に  
北塩原村 武藤 敏子

書きようで好期高齢者楽しみに  
会津坂下町 相撲莫迦

新米を送りもらう子みな笑顔  
会津若松市 白川 玲子

秋暑し「五風十雨」望むだけ  
柳津町 斎藤 泰花

母似たりやはり血筋は争えぬ  
会津若松市 五十嵐 幸枝

昔辞書今はスマホで学ぶ僕  
会津坂下町 荒井 茂

一瞬で笑いに酔えるクラス会  
会津若松市 大竹 茂

今年こそ熊来る前に栗拾い  
只見町 吉津 政一

暑いに草と野菜が背いくらべ  
会津美里町 櫻田 正任

人間も冬眠できたら熊に勝つ  
南会津町 河原田 キチ子

稲を刈るSL黒煙高くして  
西会津町 長谷川 誠

郵便料値上げて投句の質を上げ  
喜多方市 結城 志英吉

美しき稲穂波立つ夕日かな  
喜多方市 広瀬 敏雄

鏡見る母にそっくり笑顔かな  
会津若松市 湯沢 カツヨ

暑い夏終われば短い秋寒し  
会津若松市 ゆいなばあば



チビタン  
西会津町



大堀 郁子  
会津坂下町



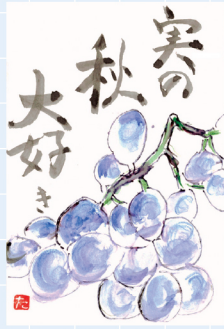
那知上 洋子  
会津坂下町



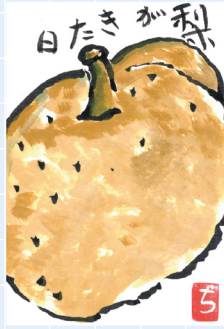
星 恵美子  
南会津町



平野 シマ子  
会津坂下町



馬場 忠子  
南会津町



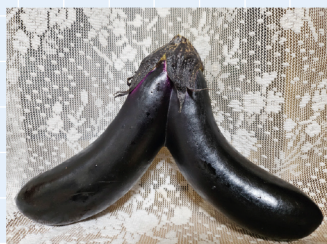
大竹 智恵子  
会津坂下町



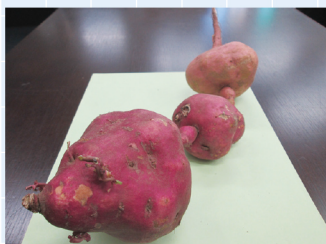
奏筆 みつや  
喜多方市



岡田 多子  
喜多方市



某チップスのひげのような双子茄子  
佐藤 弥生 (喜多方市)



恐竜のような辰のようなサツマイモ  
五十嵐 佐代子 (北塩原村)



はじめて見たハロ現象  
幸福が訪れるとか!!  
高畑 郁子 (会津坂下町)



ゾウさんのお座り?  
阿部 喜久雄 (下郷町)



ネズミに変身!?  
佐藤 清悦 (西会津町)



クジラ茄子  
鈴木 幸作 (会津若松市)



## みんなの広場 お便り大募集

8月号応募総数 186通

うちクイズ応募数 160通、正解者 157通

このコーナーではみなさんの声をお待ちして  
ますぞ! 写真やイラスト、川柳や短歌、おも  
しろ野菜、手芸などなんでも募集しますぞ!

【宛先・お問い合わせ】

総合企画部 企画広報課 TEL0242-37-2450

メール: info@aizuyotuba.jp

〒965-0025 会津若松市扇町三丁目5番地の6

JA 会津よつば みんなの広場係行

メールでの応募は  
こちらから♪



### 注意事項

- 誌面の都合上、投稿いただいた作品のすべてを掲載できません。
- 掲載にあたりペンネーム希望の方はご記載ください。
- 投稿いただいた作品は返却いたしません。また、お送りいただいた作品(絵手紙・写真など)の著作権はJAに属します。
- ご投稿いただいた内容は、意味などを変更しない範囲で校正させていただきます。あらかじめご了承ください。
- ※各地区の広報誌配布時期により、掲載月が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。

「よつば」9月号  
クロスワードパズル答え  
スポーツノヒ



当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます

# 組合員募集

あなたも「JA会津よつば」の組合員になりませんか？

JA会津よつばは、組合員をはじめ地域の皆様と手を携え、協同の輪(和)を広げるため、助け合いの精神を大切にしながら、様々な事業・活動を行っています。地域の「食」と「農」を守る応援団として、JA会津よつばの組合員になってみませんか？

## 特典がたくさん！あなたの暮らしをがっちりサポートいたします！

### 1. 出資配当

出資金に応じた配当金を受け取れます。毎年度の経営成果・剰余金の状況により、総代会で決定されます。

### 2. 特別な事業の利用

- ・各種ローンが利用できます。
- ・関連施設の利用割引があります。(飯坂温泉「大鳥」)
- ・検診の受診料が優遇されます。(PET-CT検診：白河厚生総合病院)
- ・室料差額料金の割引があります。(県内厚生病院)

### 3. 各種相談対応

融資(ローン)、共済、資産運用、年金や相続、法務・税務など、相談やアドバイスを行っております。新規で就農したいという方も手厚くサポートいたします。

### 4. 各種部会への参加

他の組合員や地域の皆さんとの交流の場を提供します。年金友の会活動や女性部活動など、楽しく交流できる場を提供します。

### ◆組合員とは？

JAでは助け合いの精神と協同組合の理念に基づき出資していただくことで、組合員になることができます。組合員になればJAの事業をご利用いただけます。農業を営む方も営まない方も組合員になることができますが、要件によって正組合員(農業を営む人)と准組合員(農業を営まない人)に区分されます。

### ◆出資金とは？

JAは、協同の力で組合員の事業及び生活のために必要な事業を行い、地域を活性化させようという組合員自身の組織です。そのために必要なお金も自分たちで出します。それが出資金です。食の安心・安全や福祉などあらゆる事業・活動の資金として使われます。

出資金は組合を脱退された場合、当JAの定款等により、年一回決められた時期に払い戻しいたします。

### ◆組合員になるための要件

1,000円(1口金額)以上の出資をお願いいたします。

#### 正組合員

- ・10a以上の土地を耕作している方
- ・年間に90日以上農業に従事している方
- ・農業を営む法人であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地域内にある方

#### 准組合員

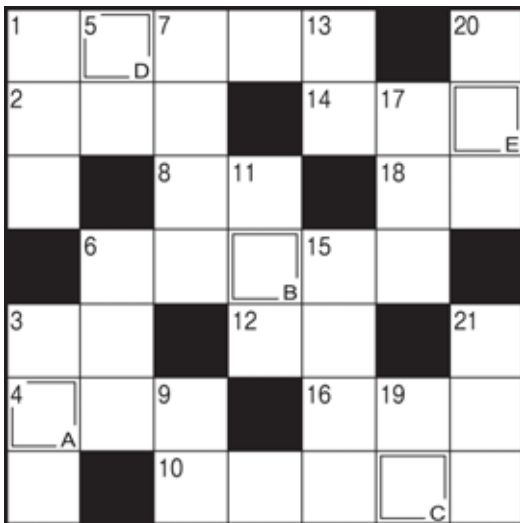
- ・会津管内にお住いの方
- ・地区内に勤務地を有する方
- ・地区外にお住いの方で、当JAの購買・販売事業を1年以上利用している方



組合員の加入については、JA会津よつば各支店で受け付けております。お問い合わせは、各支店の窓口へお気軽にお問い合わせください。

## チャレンジクロスワードパズル

Q 二重マスの文字をAから順に並べてできる言葉は何でしょう。



### ☆今月のプレゼント☆

パズルの正解者の中から抽選で10名様に会津のおいしい新米とご飯のお供をプレゼント！

タテのカギ  
 1 坂下初市奇祭大——引き、  
 奇祭高田大——引き  
 2 「——」や「——」のこと  
 3 会津藩(行)列名物のひとつ、  
 真つ赤な——の奴隷  
 4 只見といえは虫屋の間で  
 5 有名で、たとえは——。  
 6 2022年には67種確認、  
 2023年には東北初記録  
 7 となるホソミイト——が発見された  
 8 からすみはボラなどの——  
 9 を加工したものです  
 10 「奥会津シンフォニー——」の曲はジブリ映画の「——」をすませば」の主題曲  
 11 筒に強く息を送り込んで矢を飛ばします  
 12 会津木綿は、——で素朴ながら美しい縞柄が特徴  
 13 明日の授業に備えて——をした  
 14 JA会津よつばが、9月にドバイの高級レストランに向けて輸出した果物  
 15 神の起こした洪水を箱舟で乗り越えました  
 16 天竺牡丹(てんしゅくぼたん)とも呼ばれるキク科の花  
 17 一時的に寝ること

ヨコのカギ  
 1 会津地方には、夢を買う——売り場が40か所以上ある  
 2 ドミノとかドフアラとか握りずしを数えるときに使う言葉  
 3 会津鉄道がかつて活躍、——ちゃんというマスケットキャラクタ  
 4 会津バスの高速バス「会津若松——・新宿」線、約4時間半  
 5 千葉周作道場の四天王で戊辰戦争の白河戦争で会津藩に味方し散った森要蔵は、——  
 6 講談社の創業者野間清治の——  
 7 素晴らしい考えのこと  
 8 南の島に似合う植物  
 9 ——手振りを交えて説明した  
 10 急須のお茶を注ぎます  
 11 会津線、運賃箱に整理券と運賃を投入し「——両目、前方の——より(降車下さい)」

○応募方法：ハガキまたはメールにて①答え②郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号③ご意見、ご感想をご記入のうえご応募ください。  
 ※個人情報(景品発送準備以外の目的)には使用しません。

○宛先：  
 〒965-0025  
 会津若松市扇町三丁目5番地の6  
 JA会津よつば クイズ係行  
 メール：info@aizuyotuba.jp

締切  
 令和6年11月5日(火)  
 消印有効  
 ※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

「倒れた稲を起こすやつだよ」(星)と。購買の担当者は20代か、稲刈りの真つ盛り、ピンとこないかねえ

▼先日、加納小学校農業科の授業を取材させていただきました。田んぼの生き物調査をした後に手作業での稲刈りが行われ、一緒に参加しました。手刈りの大変さを実感。子どもたちが楽しそうに活動していたのが印象的でした。(弓田)▼とうとうアレを注文することに。しかし名前がわからず、形がそっくりだと思える「弁慶の薙刀、1本頼む」と言うと「?なんですか?」

ね♪(関口)  
 ▼春頃に購入したキンモクセイ。私の好きな香りです。夏の暑さに負けずに育ってくれて、先日、花が咲きました。秋を知らせる香りがふわっと風に乗ってきて「いい匂い」と喜ぶ娘たち。「好きなもの」を共有できるっていいですね

